

|           |  |                |    |
|-----------|--|----------------|----|
| 法人（事業所）理念 | 日常生活に必要な動作・知識や集団生活に必要なルール・コミュニケーションの取り方を目的に支援を行います。個人の特性を踏まえ「生きる力」「社会性」を身につけ児童が将来少しでも社会参加できるように成長・発達を助長してまいります。  |                |    |
| 支援方針      | 様々な遊びや体験の機会を通じて生きる力を育むことを目的に、「本人支援」「移行支援」「家族支援」「地域支援」の4つを軸に、児童発達支援・放課後等デイサービスの5領域、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5つを支援に取り入れ、児童・家族の状況、ニーズや課題を把握し、総合的な支援に繋げ、将来日常生活や社会生活を円滑に営めるように、日々の支援を行っています。 |                |    |
| 営業時間      | 9時00分から13時00分まで  | 送迎実施の有無        | あり |
|           | 14時00分から18時00分まで   | 休日：日曜日・お盆・年末年始 |    |

## 支援内容

|      |                 |  |
|------|-----------------|--|
| 本人支援 | 健康・生活           | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の維持</li> <li>生活リズムや生活習慣の形成</li> <li>基本的な生活スキルの習得</li> </ul> <b>支援内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握</li> </ul> <p>意思表示が困難である児童の障害の特徴及び発達の過程、特性等に配慮し、小さいサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活スキルの習得</li> </ul> <p>食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を習得できるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造化等により生活環境を整える</li> </ul> <p>生活の中で、さまざまな遊びを通じて学習できるよう環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を児童に分りやすく構造化する。</p>   |
|      | 運動・感覚           | <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢と動作の向上</li> <li>姿勢と運動、動作の補助手段の活用</li> <li>保有する感覚の総合的な活用</li> </ul> <b>支援内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢と運動、動作の基本的技能の向上</li> </ul> <p>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や動作の改善及び習得、強化などに関する支援内容を立案し実践していく。なお、地域資源として、体育館、グラウンド等を積極的に利用していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保有する感覚の活用</li> </ul> <p>発達段階及び特性に配慮して視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるような遊び（トランポリン、バランスブロック、ボールプール、風船等）を実践していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応</li> </ul> <p>感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境整備等の提案及び支援を行う。</p>  |
|      | 認知・行動           | <ul style="list-style-type: none"> <li>認知の発達と行動の習得</li> <li>空間、時間、数等の概念形成の習得</li> <li>対象や外傷環境の適切な知識と適切な行動の習慣</li> </ul> <b>支援内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>感覚や認知の活用</li> </ul> <p>聴覚、触覚等の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促すために制作活動（パズル、ブロック、積み木、マッチングなど）や身体遊び（バランスブロック、バランスボールなど）を学習プログラムとして取り入れていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知覚から行動への認知過程の発達</li> </ul> <p>環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程を適切に読み取り、児童の特性に合った環境整備ならびに関わり方に関する支援を実践していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知や行動の手掛かりとなる概念の形成</li> </ul> <p>物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるように認知教材（型はめ等）を活用し取組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数量、大小、色等の習得</li> </ul> <p>支援活動（食事や衣類の着脱など）を通じて、発達段階に応じた数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための具体的な声掛け等を取組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知の偏りへの対応</li> </ul> <p>認知の特性を把握し情報を適切に処理できるような環境調整や支援者の関わり方の指導や調整を行い、保護者に対しても認知の偏り等の個々の特性に関する情報を伝えこたわりに対する家庭との具体的な支援方法を共有していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行動障害への予防及び対応</li> </ul> <p>感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害に対して事前に環境整備など予防策を講じ、適切行動の習得に向けた適切な支援を行う。</p> |
|      | 言語<br>コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> <li>言語の形成と活用</li> <li>言語の受容及び表出</li> <li>コミュニケーションの基本的能力の向上</li> <li>コミュニケーション手段の選択と活用</li> </ul> <b>支援内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>言語の形成と活用</li> </ul> <p>児童の特性に応じ、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることにより、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援プログラムを立案し実践していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受容言語と表出言語の支援</li> </ul> <p>児童の発達段階に応じた話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指差し、身振り、サイン等の活用児童の発達段階に応じたコミュニケーション手段（指差し、身振り、サイン等）を選定し、意思の伝達ができる機会を積み重ねていけるようにして行く。</li> <li>読み書き能力向上のための支援</li> </ul> <p>障害の特性に応じた読み書き能力向上のための支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションツールの活用</li> </ul> <p>各種の文字、記号、絵カードのコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、意思の伝達が円滑にできるよう支援する。</p>  |

|             |   |         |   |
|-------------|---|---------|---|
| 人間関係<br>社会性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との関わり（人間関係）の形成</li> <li>・自己の管理と行動の調整</li> <li>・仲間づくりと集団への参加</li> </ul> <p><b>支援内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アタッチメント（愛着行動）の形成</li> </ul> <p>人との関係性を意識し、身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成する為の支援を実践していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模倣行動の支援遊び等を通じて歩との動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促し、環境整備並びに関わりを実践していく。</li> <li>・感覚運動遊びから象徴遊びへの支援</li> </ul> <p>児童の発達段階に応じた感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びの環境を整えた上で、次の発達段階として見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びへ促すための関わり方を提案し支援者が実践していく中で、徐々に社会性の発達を支援していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人遊びから共同遊びへの支援</li> </ul> <p>周囲に児童がいても無関心である一人遊びの状態から平行遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ共同遊びといったステップでの遊びの育ちを促し社会性の発達を促す支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の理解とコントロールのための支援</li> </ul> <p>大人を介して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるようになるための支援を実践していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団参加への支援</li> </ul> <p>児童の発達段階や特性に応じた環境調整等を行い、児童自らが自発的に集団に参加し、手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援をしていく。</p> |         |   |
| 家族支援        | 障害のある児童の家族への障害特性の理解と療育の向上につなげる観点から、家族に支援の見学・参加等の機会を提供した上で、児童の特性を踏まえて関わり方、支援方法を相談援助等を行う支援です。   | 移行支援    | 障害のある児童が安心して日々の生活を送るためには、関係機関が関わり方を統一し、途切れない支援を提供する事が大切です。児童発達支援・放課後等デイサービスも、幼稚園、保育園、学校などの連携によって地域移行がスムーズに行えるようにしていく支援です。 |
| 地域支援・地域連携   | 地域主催の行事等に積極的に参加し、当事業所で開催する行事等に地域の方に参加を促していく。公園、児童館等地域の子供達との交流を行っていく。  | 職員の質の向上 | 資格の取得、研修の参加、当事業所での研修・勉強会の開催   |
| 主な行事等       | 児童誕生日会（月ごと）・節分・ひな祭り・こどもの日・七夕・ハロウィーン・クリスマス   |         |   |